

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2024-108860
(P2024-108860A)

(43)公開日 令和6年8月13日(2024.8.13)

(51)国際特許分類
G 0 6 Q 30/0207(2023.01)

F I
G 0 6 Q 30/0207

テーマコード (参考)
5 L 0 3 0
5 L 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全14頁)

(21)出願番号 (22)出願日	特願2023-13471(P2023-13471) 令和5年1月31日(2023.1.31)	(71)出願人 (74)代理人 (74)代理人 (72)発明者 (72)発明者 (72)発明者	517164556 株式会社T O S E I 東京都品川区東五反田一丁目2 4 番2 号 100107928 弁理士 井上 正則 110003362 弁理士法人 i . P A R T N E R S 特許事 務所 深瀬 利隆 東京都品川区東五反田一丁目2 4 番2 号 株式会社T O S E I 内 中村 麻日奈 東京都品川区東五反田一丁目2 4 番2 号 株式会社T O S E I 内 谷村 優
		最終頁に続く	

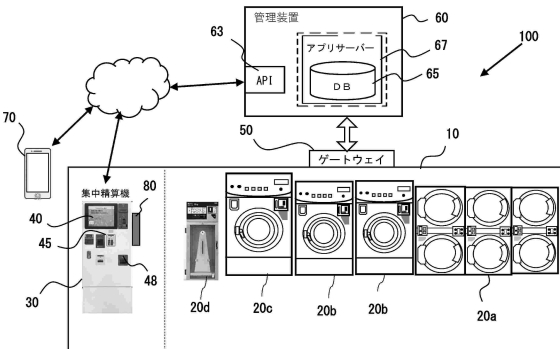
(54)【発明の名称】 コインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システム

(57)【要約】

【課題】コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数をユーザーに付与することができるポイント付与方法およびポイント付与システムを提供する。

【解決手段】実施形態のコインランドリーのポイント付与方法は、コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数を付与するポイント付与方法であって、前記集中精算機からの画面操作に応じて、利用するランドリー機器の選択、コース選択、決済処理を実行するステップと、決済成功により選択したランドリー機器の運転成功に応じて、前記集中精算機に前記ポイント数を付与するための識別コードを提供するステップと、ユーザーが所有する携帯機器によって前記識別コードの読み取り、その読取情報を受信して前記ポイント数を付与するステップと、を有することを特徴とする。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数を付与するポイント付与方法であって、
前記集中精算機からの画面操作に応じて、利用するランドリー機器の選択、コース選択、決済処理を実行するステップと、
決済成功後の選択したランドリー機器の運転成功に応じて、前記集中精算機に前記ポイント数を付与するための識別コードを提供するステップと、
ユーザーが所有する携帯機器によって前記識別コードの読み取り、その読取情報を受信すると前記ポイント数を付与するステップと、
を有することを特徴とするコインランドリーのポイント付与方法。

10

【請求項 2】

前記識別コードは、前記集中精算機の操作画面に表示されることを特徴とする請求項 1 に記載のコインランドリーのポイント付与方法。

【請求項 3】

前記識別コードは、前記集中精算機からの印刷操作に応じて印刷機によって印刷出力されることを特徴とする請求項 1 に記載のコインランドリーのポイント付与方法。

【請求項 4】

前記識別コードには、少なくとも店舗 ID、決済金額、決済金種の情報が含まれていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のコインランドリーのポイント付与方法。

20

【請求項 5】

コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数を付与するポイント付与システムであって、

前記ランドリー店舗と紐づけされた携帯機器又は前記集中精算機からの機器選択、コース選択、支払い方法の操作入力に応じて前記ランドリー機器に向けて各種指令を送信する制御手段を有し、

前記制御手段は、

選択したコースの決済成功により選択したランドリー機器に対し運転開始を指令し、

前記選択したランドリー機器の運転成功により前記集中精算機に前記利用料金に応じた前記ポイント数を付与するための識別コードを提供し、

30

前記携帯機器から前記識別コードの読み取り情報を受信すると前記ポイント数を付与することを特徴とするコインランドリーのポイント付与システム。

【請求項 6】

前記識別コードは、前記集中精算機の操作画面に表示されることを特徴とする請求項 5 に記載のコインランドリーのポイント付与システム。

【請求項 7】

前記識別コードは、前記集中精算機からの印刷操作に応じて印刷機によって印刷出力されることを特徴とする請求項 5 に記載のコインランドリーのポイント付与システム。

【請求項 8】

前記識別コードには、少なくとも店舗 ID、決済金額、決済金種の情報が含まれていることを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のコインランドリーのポイント付与システム。

40

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明の実施形態は、コインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システムに関する。

【背景技術】

【0002】

50

コインランドリー店舗では、サービスの一環としてランドリー機器の利用料金に応じてポイントを付与する運営が行われている。その獲得したポイントは、ユーザー（利用者）が貯めているポイントカードに蓄積することができる。ポイントは、ランドリー機器の利用料金の支払いに使用できるし、当該ポイントカードの取扱店でも使用できる。

先行技術として、顧客サービス装置の支払い蓄積金額が多くなればなるほどポイント付与（還元）率が高くなるようにして、顧客満足度を高めることができる顧客サービスシステムのポイント付与方法及びコインランドリーシステムがある（例えば、特許文献1）。

【0003】

特許文献1では、ユーザーが所有するスマートフォン等の携帯機器にランドリーアプリケーション（以下、ランドリーアプリと称する）をインストールし、その携帯機器と店舗内の集中精算機とを紐づけして、当該ランドリーアプリから使用する機器の選択、コース選択等を行って利用料金を支払うと、その利用料金に応じたポイント数を携帯機器に登録しているポイントカードに付与（蓄積）することが開示されている。

10

【0004】

ところで、ランドリー機器を使用する方法として、コインランドリー店舗に設置される集中精算機の操作からでも利用することができる。ユーザーは、集中精算機の画面操作（タッチスクリーン）からランドリー機器の選択、およびコース選択、料金の支払い決済等の入力操作を行って、ランドリー機器を使用することができる。しかしながら、集中精算機からランドリー機器を使用した場合にはポイントサービスが行われておらず、携帯機器に登録しているポイントカードに付与（蓄積）することが出来なかった。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】特開2022-177641号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

本発明が解決しようとする課題は、コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数をユーザーに付与することができるポイント付与方法およびポイント付与システムを提供することを目的とする。

30

【課題を解決するための手段】

【0007】

実施形態のコインランドリーのポイント付与方法は、コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数をユーザーの携帯機器に付与するポイント付与方法であって、前記集中精算機からの画面操作に応じて、利用するランドリー機器の選択、コース選択、決済処理を実行するステップと、決済成功後の選択したランドリー機器の運転成功に応じて、前記集中精算機に前記ポイント数を付与するための識別コードを提供するステップと、ユーザーが所有する携帯機器によって前記識別コードの読み取り、その読取情報を受信して前記ポイント数を付与するステップと、を有することを特徴とする。

40

【0008】

また実施形態のコインランドリーのポイント付与システムは、コインランドリー店舗に設置される集中精算機を使用してランドリー機器を使用した時、その利用料金に応じたポイント数を付与するポイント付与システムであって、前記ランドリー店舗と紐づけされた携帯機器又は前記集中精算機からの機器選択、コース選択、支払い方法の操作入力に応じて前記ランドリー機器に向けて各種指令を送信する制御手段を有し、前記制御手段は、選択したコースの決済成功により選択したランドリー機器に対し運転開始を指令し、前記選択したランドリー機器の運転成功により前記集中精算機に前記利用料金に応じた前記ポイント数を付与するための識別コードを提供し、前記携帯機器から前記識別コードの読み取

50

り情報を受信すると前記ポイント数を付与することを特徴とする。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】実施形態に係るコインランドリーのポイント付与システムの構成の一例を示す図である。

【図2】コインランドリーのポイント付与システムの動作を示した第1処理ルーチンを示す図である。

【図3】コインランドリーのポイント付与システムの動作を示した第2処理ルーチンを示す図である。

【図4】コインランドリーのポイント付与システムの動作を示した第3処理ルーチンを示す図である。

【図5】コインランドリーのポイント付与システムの動作を示した第4処理ルーチンを示す図である。

【図6】第1処理ルーチン中の集中精算機のタッチスクリーンに表示されるランドリー機器の選択画面の一例を示す図である。

【図7】第1処理ルーチンで集中精算機のタッチスクリーンに表示される機器選択画面の一例を示す図である。

【図8】図7から布団乾燥機を選択した場合のタッチスクリーンに表示される機器選択確認画面の一例を示す図である。。

【図9】布団乾燥機を選択した場合のタッチスクリーンに表示されるコース選択の第1画面の一例を示す図である。

【図10】第2処理ルーチンで布団乾燥機を選択した場合のタッチスクリーンに表示されるコース選択画面の第2画面の一例を示す図である。

【図11】第2処理ルーチンで洗濯乾燥機を選択した場合のタッチスクリーンに表示されるコース選択画面の一例を示す図である。

【図12】第2処理ルーチンで集中精算機のタッチスクリーンに表示される支払い方法を選択する画面の一例を示す図である。

【図13】第2処理ルーチンで集中精算機のタッチスクリーンに表示される決済端末によるクレジットカード決済の動作を案内する画面の一例を示す図である

【図14】第3処理ルーチンで集中精算機のタッチスクリーンに表示される連携QRコード表示画面の一例を示す図である。

【図15】第3処理ルーチンで集中精算機の印刷機で印刷したQRコードの一例を示す図である。

【図16】第4処理ルーチンでタッチスクリーンのQRコード又は印刷機で印刷したQRコードを読み取るスマートフォンの画面の一例を示す図である。

【図17】第4処理ルーチンでユーザーのスマートフォンに付与したポイント数を通知する画面の一例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

以下、実施形態のコインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システムについて、図面を参照して説明する。

図1は、実施形態のコインランドリーのポイント付与システム100の構成例を示す図である。図1において、コインランドリー店舗10には洗濯乾燥機、乾燥機、布団乾燥機（以下、これらをランドリー機器20と称する）が店舗の大きさに応じて多数設置されている。図1では、2連式乾燥機3台（20a）、中型洗濯乾燥機2台（20b）、大型洗濯乾燥機1台（20c）、布団乾燥機1台（20d）を例示している。

【0011】

コインランドリー店舗10には、複数台のランドリー機器20を制御するゲートウェイ（GW）50と、ランドリー機器20を使用するための入力操作、利用料金の決済、QRコード（登録商標）等の印刷等を行う集中精算機30が設けられる。集中精算機30は、

10

20

30

40

50

ランドリー機器 20 と同じ建屋に設置しても良いし、別な建屋に設置しても良い。ゲートウェイ 50 は、複数台のランドリー機器 20 に対して各種の動作を指示すると共に、ランドリー機器 20 の動作を掌握する。集中精算機 30 には、タッチスクリーン 40、現金の決済装置 45、印刷機 48、決済端末 80 が設けられる。

【0012】

集中精算機 30 は、ネットワーク（例えば、インターネット）を経由して管理装置 60 の API（アプリケーションインタフェース）63 に接続されている。管理装置 60 は、API 63 と大容量のデータベース（DB）65 を有するアプリサーバー（クラウドサーバーとも言う）67 等を有して構成されている。また管理装置 60 は、有線又は無線でゲートウェイ 50 とも接続されている。

10

【0013】

集中精算機 30 の印刷機 48 は、後述するポイントレシートを印刷することができる。また印刷機 48 は、支払った利用料金の領収書やレシートの印刷も行うことができる。決済端末 80 は、後述する支払い処理時にクレジットカード等の読み取りに使用する。

【0014】

管理装置 60 のアプリサーバー 67 は、コインランドリー店舗 10 を管理する店舗管理機能部と、ユーザーの携帯機器 70（例えば、スマートフォンやタブレット）とコインランドリー店舗 10 と紐づけしてランドリー機器 20 を利用する「ランドリーアプリケーション」（以下、ランドリーアプリと称する）を運営および管理する利用管理機能部とを有している。利用管理機能部には、本実施形態のポイント付与機能部が含まれている。なお、ポイント付与機能部を独立したモジュールとして構成しても良い。

20

【0015】

アプリサーバー 67 の店舗管理機能部は、コインランドリー店舗 10 のゲートウェイ 50 に各種指令を送信する。ゲートウェイ 50 は、その指令を受けて店舗内のランドリー機器 20 を制御する。ゲートウェイ 50 は、ランドリー機器 20 からの応答を受信すると、その情報をアプリサーバー 67 に送信する。店舗管理機能部は、それらのやり取りした情報に基づきコインランドリー店舗 10 を管理運営する。

【0016】

アプリサーバー 67 の利用管理機能部は、利用者の携帯機器 70（以下ではスマートフォンを例に説明する）にインストールされたランドリーアプリからの操作に応じて、ランドリー機器 20 が利用できるように管理運営する。スマートフォン 70 は、ネットワーク（例えば、インターネット）を経由して管理装置 60 の API 63 と接続されている。スマートフォン 70 はランドリーアプリを用いて、アプリサーバー 67 との通信によりランドリー機器 20 を利用するための操作を行うことができる。また、データベース 65 に格納されている情報の一つであるコインランドリー店舗 10 の利用により獲得したポイント数を見ることができる。

30

【0017】

アプリサーバー 67 のデータベース 65 内にはコインランドリー店舗 10 を利用するユーザーの情報を記憶するユーザー情報テーブル、利用者毎に利用履歴を記憶する履歴情報テーブル、獲得したポイント数とポイントランクを管理するポイント管理テーブル等（いずれも図示せず）が設けられる。

40

【0018】

図 2 乃至図 5 は、コインランドリーのポイント付与システム 100 の動作を示した処理ルーチンである。図 6 乃至 14 は、各処理ルーチンでの集中精算機 30 のタッチスクリーン 40 に表示される案内又は操作の画面例を示している。以下、図 2 乃至図 14 を参照して、実施形態のポイント付与システムの動作およびポイント付与方法について説明する。

【0019】

まず、コインランドリー店舗 10 に設置される集中精算機 30 のタッチスクリーン 40 には、図 6 に示すランドリー機器のホーム画面 100 が表示されている。ホーム画面 100 の左側に表示される QR コード 110 は、スマートフォン 70 の QR 読取機能により読

50

み取られる。

QRコード110は、店舗情報（店舗ID）および発生日付時刻等が公開鍵により暗号化されたものである。集中精算機30のタッチスクリーン40には、一定時間ごとに（例えば、1分）、暗号コード内容がQRコード110として表示される。

【0020】

QRコード110を読み取ったスマートフォン70は、集中精算機30と紐づけされる。ユーザーは、コインランドリー店舗10を利用するランドリーアプリによる手続に従って、ランドリー機器20を使用するための各種操作（機器選択、コース選択、決済処理等）を行う。本実施形態では、スマートフォン70によるランドリー機器20の使用操作は関係しないので、これ以降の説明は省略する。

10

【0021】

ホーム画面100の右側に表示されるエリア120は、本実施形態で用いられる作業エリアである。エリア120には、コインランドリー店舗10内のランドリー機器20の運転状況を取得するためのアイコン（画像）が表示されている。ランドリーアプリを使用しないユーザーは、このエリア120をタッチしてランドリー機器20の使用をスタートする。

【0022】

ユーザーがエリア120内のどこかをタッチすると（図2のS100）、集中精算機30からAPI63を経由（以降、APIの説明は省略する）してアプリサーバー67にタッチ（機器運転状況取得）信号が送信される（図2のS110）。そのタッチ信号を受信したアプリサーバー67は、ゲートウェイ50に機器運転状況取得指令を送信する（図2のS120）。ゲートウェイ50は、コインランドリー店舗10内の全てのランドリー機器20（一つずつ又は同時に）に向けて機器運転状況を応答するように要求する（図2のS130）。

20

全てのランドリー機器20からの機器運転状況情報はゲートウェイ50に返信され、ゲートウェイ50からアプリサーバー67に送信される（図2のS140、S150）。それぞれの機器運転状況情報を受信したアプリサーバー67は、集中精算機30のタッチスクリーン40に図7に示す機器選択画面200を生成して表示する（図2のS160）。

【0023】

図7に示す機器選択画面200には、コインランドリー店舗10内に設置される全てのランドリー機器20の利用可否が分かるように表示される。例えば、機器選択画面200において、灰色で表示されている機器（例えば、2号機、5号機、6号機…）は他のユーザーによって使用（又は故障）していることを示し（使用不可）、白く表示されている機器（例えば、1号機、3号機、4号機…）は選択可能（使用可）な機器を示している。ユーザーは、同画面200から空き状態にある希望のランドリー機器（エリア内）をタッチ（選択）する（図2のS170）。

30

【0024】

例えば、機器選択画面200から4号機「布団乾燥機」が選択された場合、タッチスクリーン40の画面が図8に示す機器選択確認画面300に切り替わる。ユーザーは機器選択確認画面300に表示される機器で間違いなければ、「確認しました」ボタン310をタッチする。すると、集中精算機30は、選択された4号機「布団乾燥機」の機器選択信号をアプリサーバー67に送信する（図2のS180）。

40

【0025】

機器選択信号を受信したアプリサーバー67は、ゲートウェイ50に機器選択指令を送信する（図3のS190）。すると、ゲートウェイ50は、操作対象のランドリー機器20（4号機「布団乾燥機」）に機器選択を通知すると共に、コース情報を応答するように要求する（図3のS200）。

操作対象のランドリー機器20（4号機の「布団乾燥機」）は、機器選択通知に応答して自機器のコース情報（図9および図10の表示情報）をゲートウェイ50に送信する（図3のS210）。ゲートウェイ50は、アプリサーバー67に取得したコース情報を送

50

信する（図３のＳ２２０）。そして、アプリサーバー６７から集中精算機３０にコース情報が送信されると、集中精算機３０のタッチスクリーン４０には、図９に示すコース選択画面３５０が表示される（図３のＳ２３０）。

【００２６】

図９に示すコース選択画面３５０には、操作対象のランドリー機器２０（４号機の「布団乾燥機」）が有するコース情報が表示される。４号機の「布団乾燥機」は、「リフレッシュ」と「乾燥」の２つのコースしかないので、そのコース情報が表示される。なお、リフレッシュとは、水蒸気を洗濯物（布団）に吹掛けながら、布団類の乾燥を行うコースである。

例えば、コース選択画面３５０から「乾燥」ボタン３６０が選択された場合、集中精算機３０のタッチスクリーン４０には、図１０に示すコース（時間／料金）選択画面３８０が表示される。ユーザーは、コース（時間／料金）選択画面３８０から希望する乾燥時間を選択する（図３のＳ２４０）。

【００２７】

図１１には、図７に示した機器選択画面２００から１号機「小型洗濯乾燥機」が選択された場合のコース（時間／料金）選択画面４００の一例を示している。

洗濯乾燥機（大きさを問わない）が選択された場合、洗濯乾燥コース４１０と、洗濯だけのコース４２０と、乾燥だけのコース４３０が予め用意されているので、ユーザーは希望するコースエリアをタッチ（選択）する。

なお、図１０および図１１は、アプリサーバー６７が生成して集中精算機３０に提供する方式でも良く、或いは集中精算機３０が生成して表示する方式でも良い。

【００２８】

図１０に示すコース（時間／料金）選択画面３８０から、例えば５分／１００円のコースが選択された場合、図１２に示す金種選択画面５００にタッチスクリーン４０に表示される。

図１２の金種選択画面５００には、図１０で選択したコースの利用料金を支払うための支払い先の情報が表示されている。例えば、支払い方法として、現金支払い５１０、クレジットでの支払い５２０、コード支払い５３０、電子マネー支払い５４０の中から、ユーザーが希望する支払先を選ぶことができる。金種選択画面５００には、選択したコースと料金の表示エリア５５０、料金明細書発行の選択エリア５６０等も表示されている。ユーザーは、金種選択画面５００から希望する支払い方法を選択する（図３のＳ２５０）。すると、集中精算機３０は、タッチスクリーン４０に図１３に示す決済画面６００を表示する。

【００２９】

図１３の決済画面６００では、図１２の金種選択画面５００からクレジット支払い５２０を選択した時のクレジットカード支払いの案内を示している。

ユーザーは、決済画面６００を参照して、集中精算機３０に取り付けられている決済端末８０（図１を参照）に所有するクレジットカードをかざして（又は挿入して）手続を行う。集中精算機３０は、決済処理が正しく実行できたと判断（決済成功）すると、操作対象のランドリー機器（４号機「布団乾燥機」）２０に向けて機器運転開始信号を送信する（図４のＳ２６０）。なお、決済処理が正しい実行できない場合、他の決済が可能であれば、一つ前に戻る操作で図１２の画面からやり直す。また、例えば決済処理をリトライしても駄目な場合は、一旦これまでの操作を打ち切り（中止）、当該ユーザーには該当カードの対策をお願いする。

【００３０】

集中精算機３０から機器運転開始信号を受けたアプリサーバー６７は、ゲートウェイ５０に操作対象のランドリー機器２０に対する運転開始指令を送信する（図４のＳ２７０）。ゲートウェイ５０は、その運転開始指令に従い操作対象のランドリー機器（４号機「布団乾燥機」）２０を稼働させる（図４のＳ２８０）。操作対象のランドリー機器（４号機「布団乾燥機」）２０は、運転開始指示を受けて動作を開始すると、その結果情報（例え

10

20

30

40

50

ば、「正常」（運転成功）をゲートウェイ５０に向けて応答する（図４のＳ２９０）。ゲートウェイ５０は、その結果情報をアプリサーバー６７に送信する（図４のＳ３００）。

【００３１】

アプリサーバー６７は、操作対象のランドリー機器２０の結果情報を受信すると決済ＩＤを破棄する。また、結果「正常」（運転成功）を受信すると、図１４に示すアプリ連携ＱＲコード表示画面７００を生成して、集中精算機３０のタッチスクリーン４０に提供（表示）する（図４のＳ３１０）。

【００３２】

操作対象のランドリー機器２０は、正常に動作しない場合は「エラー」（運転不成功）情報がゲートウェイ５０を経由してアプリサーバー６７に送信される。アプリサーバー６７は、エラー情報の受信により、集中精算機３０のタッチスクリ４０に「エラー」を表示すると共に、決済した金額の返金処理を実行する。ユーザーは返金を確認し、操作対象のランドリー機器２０が故障したと判断して、ホーム画面に戻り、他のランドリー機器２０を選択する手順からやり直す。

【００３３】

図１４に示すアプリ連携ＱＲコード表示画面７００には、「アプリで二次元コードを読み込むとポイントが付与されます」のメッセージ７１０が表示されている。ユーザーは、そのメッセージに従い、所有するスマートフォン７０のＱＲ読取機能を立ち上げて、１回読取用の識別コード７２０（以下では、二次元のＱＲコードを例に説明する）を読み取る（図５のＳ３２０）。ＱＲコード７２０は、他の利用者に悪用されないように、所定時間（例えば１分）経過後には消える。

【００３４】

もしも、スマートフォン７０を持参していない場合、或いは後でポイント処理したい場合は、「二次元コードを印刷する」ボタン７３０をタッチする。すると、集中精算機３０の印刷機４８から図１５に示すポイントレシート８００が印刷されて、ユーザーに提供される。ポイントレシート８００には、１回読取用のＱＲコード８１０が印刷されている。なお、アプリ連携ＱＲコード表示画面７００で「領収書を印刷する」ボタン７４０をタッチすると、印刷機４８から領収書が印刷出力される。また、「レシートを印刷する」ボタン７５０をタッチすると、印刷機４８からレシートが印刷出力される。

【００３５】

ユーザーは、ポイントレシート８００を持ち帰り、自宅等で印刷されたＱＲコード８１０をスマートフォン７０で読み取る。ＱＲコード８１０には、システム側で有効期間（例えば、３日間）が設定され管理される。また、図１４に示した１回読取用のＱＲコード７２０を読み取ってポイント付与作業を行った場合、印刷されたＱＲコード８１０は無効なものとする。若しくは、「二次元コードを印刷する」を無効にしても良い。

【００３６】

図１６は、図１４のＱＲコード７２０、又は図１３に示すポイントレシート８００のＱＲコード８１０を読み取るスマートフォン７０の画面８５０を示している。

ＱＲコード７２０およびＱＲコード８１０には、例えば店舗ＩＤ、動かした機器ＩＤ、動かしたコース、決済金額、決済金種等の情報が記録されている。スマートフォン７０からＱＲコード７２０又はＱＲコード８１０を読み込むと、スマートフォン７０からアプリサーバー６７に向けて読み取った上記情報が送信される（図５のＳ３３０）。すると、アプリサーバー６７は、内蔵するポイント算出アプリにより、当日の利用料金に応じたポイント数を算出して付与する。アプリサーバー６７は、付与したポイント数をスマートフォン７０に通知する。ポイント算出アプリは、利用料金に対し一律のポイント率で付与する方式でも良い。また、所定期間（例えば、１年）の利用料金の蓄積額に応じてポイントランクを設定し、そのポイントランクが高くなればなるほどポイント率が高くなる方式でも良い。

【００３７】

付与したポイント数は、アプリサーバー 67 のデータベース 65（例えば、ポイント管理テーブル等）に格納される。従って、スマートフォン 70 からランドリーアプリを起動した時のホーム画面には、アプリサーバー 67 からユーザーが獲得している現在のポイント数とポイントランクが提供され表示される。

【0038】

アプリサーバー 67 は、機器運転状況である洗濯完了の通知と併せて、算出したポイント数を図 17 に示す画面 900 にてユーザーのスマートフォン 70 に通知（付与）する（図 5 の S340）。

スマートフォン 70 に表示される画面 900 には、洗濯完了を示す利用状況メッセージ 910 と共に、当日の利用料金に応じたポイント数 920（例えば、80P）が表示されている。なお、獲得したポイント数は、専用のポイント通知画面を用いてスマートフォン 70 に通知するものでも良い。

【0039】

以上説明したように実施形態のコインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システムによれば、コインランドリー店舗 10 に設置される集中精算機 30 を使用してランドリー機器 20 を使用した場合、アプリサーバー 67 によって集中精算機 30 に利用料金のポイント数を付与するための識別コード（QRコード）が提供できる。ユーザーは、所有するスマートフォンにて識別コード（QRコード）を読み取ることによって、ランドリーアプリに利用料金に応じたポイント数が獲得できる。これにより、集中精算機 30 からの利用操作であっても、その利用料金に応じたポイント数が付与される。そして、ユーザーのスマートフォン 70 に獲得したポイント数が通知されるので、ユーザーへのサービス向上となり、コインランドリー店舗の利用率向上に繋がる。

なお、ポイント付与システムは図 1 に限定されない。例えば、管理装置 500 にゲートウェイの機能を組み込んでも良い。そのようなシステム構成であっても、管理装置 500 が組み込んだゲートウェイ機能も実行するだけで、上述した実施形態の動作は変わらない。

【0040】

実施形態のコインランドリーのポイント付与方法は、コインランドリー店舗 10 に設置される集中精算機 30 を使用してランドリー機器 20 を使用した時、その利用料金に応じたポイント数を付与するポイント付与方法であって、集中精算機 30 からの画面操作に応じて、利用するランドリー機器の選択、コース選択、決済処理を実行するステップと、決済成功後の選択したランドリー機器 20 の運転成功に応じて、集中精算機 30 にポイント数を付与するための識別コード（720、810）を提供するステップと、ユーザーが所有する携帯機器 70 によって識別コード（720、810）の読み取り、その読取情報を受信してポイント数を付与するステップと、を有する方法である。これにより、アプリサーバーから集中精算機に利用料金のポイント数を付与するための識別コードを提供し、ユーザーの携帯端末にて識別コードを読み取ることによって、ポイント数を付与（獲得）することができる。

【0041】

実施形態のコインランドリーのポイント付与システムは、コインランドリー店舗 10 に設置される集中精算機 30 を使用してランドリー機器 20 を使用した時、その利用料金に応じたポイント数を付与するポイント付与システムであって、ランドリー店舗 10 と紐づけされた携帯機器 70 又は集中精算機 30 からの機器選択、コース選択、支払い方法の操作入力に応じてランドリー機器 20 に向けて各種指令を送信する制御手段 67 を有し、制御手段 67 は、選択したコースの決済成功により選択したランドリー機器 20 に対し運転開始を指令し、選択したランドリー機器 20 の運転成功により集中精算機 30 に利用料金に応じたポイント数を付与するための識別コード（720、810）を提供し、携帯機器 70 から識別コード（720、810）の読み取り情報を受信するとポイント数を付与する構成である。これにより、アプリサーバーから集中精算機に利用料金のポイント数を付与するための識別コードを提供し、ユーザーの携帯端末にて識別コードを読み取ることに

よって、ポイント数を付与（獲得）することができる。

【0042】

実施形態のコインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システムにおける識別コード（720、810）は、集中精算機30の操作画面40に表示される。これにより、ユーザーの携帯機器にて集中精算機の操作画面に表示される識別コードを読み取る操作だけでポイント数を獲得することができる。

【0043】

実施形態のコインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システムにおける識別コード（720、810）は、集中精算機30からの印刷操作に応じて印刷機48によって印刷出力される。これにより、ユーザーの携帯機器にて印刷出力された識別コードを読み取る操作だけでポイント数を獲得することができる。

【0044】

実施形態のコインランドリーのポイント付与方法およびポイント付与システムにおける識別コード（720、810）には、少なくとも店舗ID、決済金額、決済金種の情報が含まれている。これにより、決済処理に従ってポイント数の算出が容易に行うことができる。

【0045】

本発明の実施形態は、例として提示したものであり、発明の範囲を限定することは意図していない。これらの新規な実施形態は、その他の様々な形態で実施されることが可能であり、発明の要旨を逸脱しない範囲で、種々の省略、置き換え、変更を行うことができる。これらの実施形態やその変形は、発明の範囲や要旨に含まれるとともに、特許請求の範囲に記載された発明とその均等の範囲に含まれる。

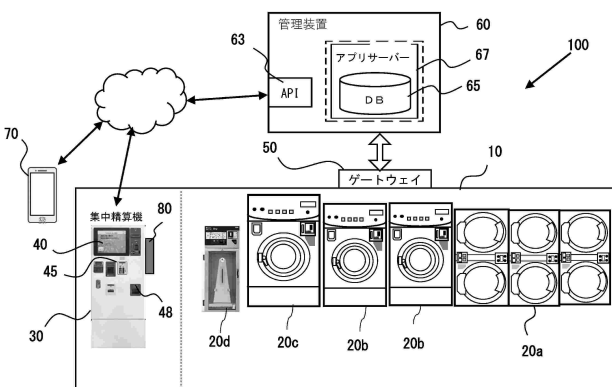
【符号の説明】

【0046】

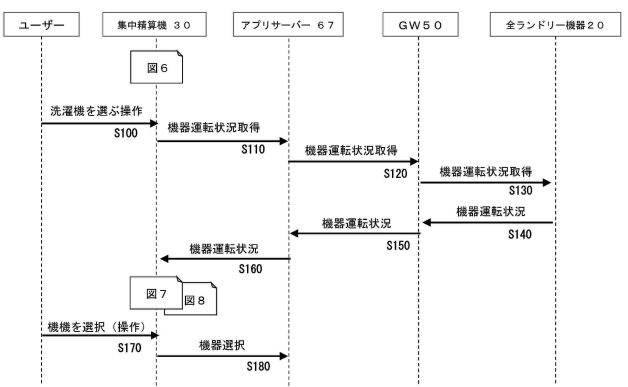
- 10…コインランドリー店舗、 20…ランドリー機器、 30…集中精算機
- 40…タッチスクリーン、 45…決済装置、 48…印刷機
- 50…ゲートウェイ、 60…管理装置、 63…API
- 65…データベース、 67…アプリサーバー
- 70…携帯機器（例えば、スマートフォン）、 80…決済端末

【図面】

【図1】



【図2】



10

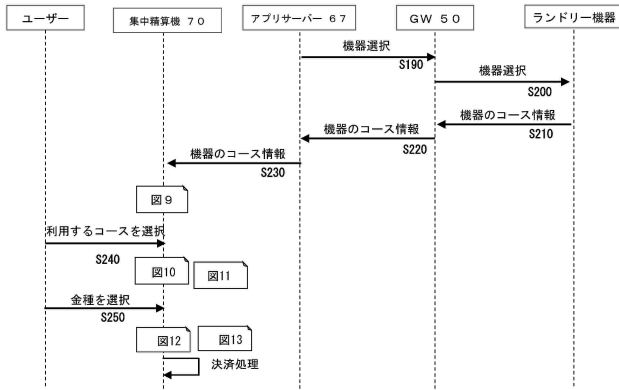
20

30

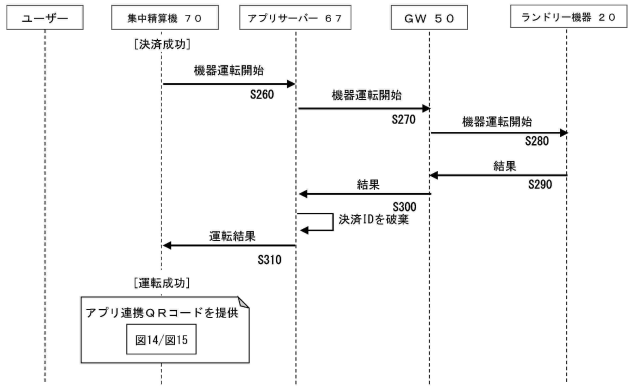
40

50

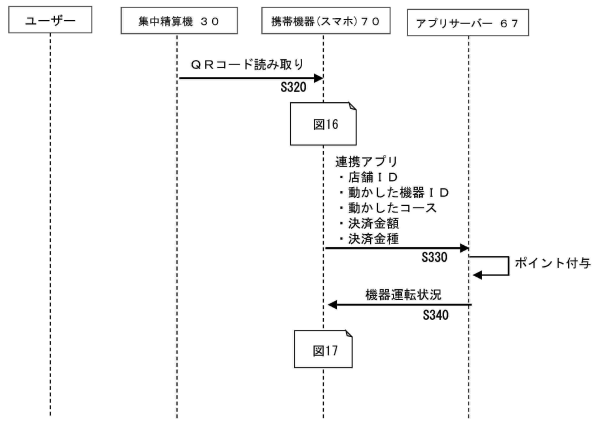
【圖 3】



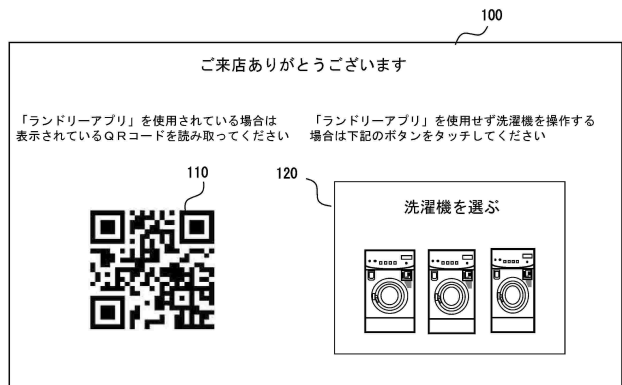
【図 4】



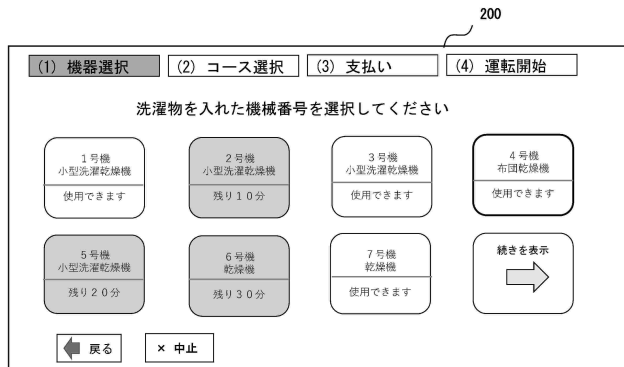
【図 5】



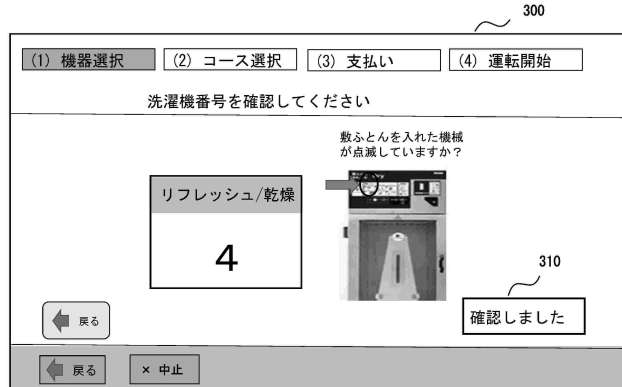
【図 6】



【圖 7】



【図 8】



【図 9】

350

(1) 機器選択

(2) コース選択

(3) 支払い

(4) 運転開始

機械番号

4

コースを選択してください

リフレッシュ

乾燥

360

戻る

× 中止

【図 10】

380

(1) 機器選択

(2) コース選択

(3) 支払い

(4) 運転開始

機械番号

4

コースを選択してください

乾燥

5分 100円

10分 200円

15分 300円

20分 400円

25分 500円

30分 600円

35分 700円

40分 800円

45分 900円

390

戻る

× 中止

10

【図 11】

400

(1) 機器選択

(2) コース選択

(3) 支払い

(4) 運転開始

機械番号

1

コースを選択してください

予約コース

4分/¥800

標準コース

6分/¥1,200

金入りコース

8分/¥1,600

乾燥/にれいモード

30分/¥900

予約コース

1分/¥300

標準コース

2分/¥500

金入りコース

3分/¥900

乾燥/にれいモード

30分/¥900

35分 ¥1,000

70分 ¥200

30分 ¥300

40分 ¥400

55分 ¥500

60分 ¥600

70分 ¥700

80分 ¥800

戻る

× 中止

【図 12】

500

(1) 機器選択

(2) コース選択

(3) 支払い

(4) 運転開始

機械番号

4

お支払い方法を選択してください

料金明細書発行

なし

領収書

スマートクレジット

560

乾燥 5分

ご利用金額 100円

550

現金

クレジット

コード支払い

電子マネー

510

520

530

540

残高確認

戻る

× 中止

20

【図 13】

600

(1) 機器選択

(2) コース選択

(3) 支払い

(4) 運転開始

機械番号

4

クレジットカードを読み取ってください

クレジットカード支払い

ICチップ

タッチ

ご利用金額 100円

支払方法 一括払い

* 中断する場合は決済端末のⓧを押してください

戻る

× 中止

【図 14】

700

(1) 機器選択

(2) コース選択

(3) 支払い

(4) 運転開始

ご利用をありがとうございました
運転を開始しました

「ランドリーアプリ」をお持ちの方は、
アプリで二次元コードを読み込むとポイントが付与されます

710

二次元コードを印刷する

730

用紙を印刷し、
後からポイント付与できます

740

750

読み取りボタンからスキャン

720

スマートシート

領収書

40

50

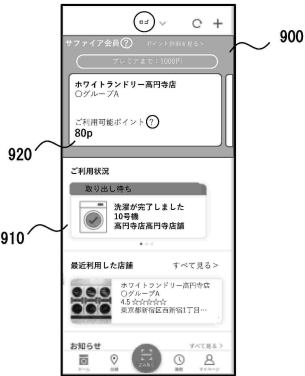
【図 15】



【図 16】



【図 17】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

東京都品川区東五反田一丁目 2 4 番 2 号 株式会社 T O S E I 内
(72)発明者 杉本 隆
東京都品川区東五反田一丁目 2 4 番 2 号 株式会社 T O S E I 内
F ターム (参考) 5L030 BB07
5L049 BB07